

目白大学農業体験

農作業・食品加工体験をとおして、農業・農村の現状に理解を深めるとともに交流を深めることを目的として、平成26年8月26日～29日(3泊4日)に矢祭町内で東京都目白大学の学生10名が農業体験を行いました。

初日は、農産物モニタリング検査状況、矢祭町産米の全量全袋検査状況、矢祭町の農産物直売所「太郎の四季」を見学しました。米の全量全袋検査について説明を聞き、矢祭産のお米はなぜ安全で美味しく食べられるのか、自分達目で直接確認し、学ぶことができました。

2～3日目は農業体験として各受入農家に分かれて農作業を体験しました。花卉の栽培管理や農林産物の管理に一生懸命取り組みました。

最終日は農産物加工体験として矢祭町産のブルーベリーを使ったジャム作りと矢祭町名物さしみこんにゃく作りを体験しました。

参加者からは「短い期間内での農業体験だったが農業の大変さを肌で感じる事が出来ました。」「矢祭町の人々の暖かさに触れ矢祭町のファンになりました。来年も是非参加したいです。」「プライベートでも矢祭町に遊びに来たいです。」等の感想をいただきました。

受入農家さんは「農家側の準備や農業指導等は大変ではあったけれど、若い人が来てくれて刺激を受けた。とても楽しかった」とお話しして下さいました。来年以降も、大学生に農業・農村体験の機会を提供するとともに、町の活性化につながるような交流となるよう継続して取り組んでいきたいと思っております。



参加者のみなさん



FUJITA農園での栽培管理作業